

開催日時	平成 28 年 11 月 16 日（水）10：00～11：42
開催場所	釧路市男女平等参画センターふらっと
参加人数	19 人
出席議員	<p>月田光明 議長</p> <p>佐藤勝秋 議員（議会運営委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>金安潤子 議員（総務文教常任委員会委員）</p> <p>伊東尚悟 議員（経済建設常任委員会副委員長、議会広報特別委員会委員：司会）</p> <p>高橋一彦 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>森 豊 議員（都心部市街地整備特別委員会委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：病後児保育事業とはどのようなものか。</p> <p>高橋：感染症などの病気にかかった子どもは保育園に預かってもらえないが、両親共働き等で預け先が無い場合に利用してもらうために今年 4 月から開始した事業である。8 月末現在、23 人が登録したが 1 人の利用しかなく、どういう問題があるかが議論された。子どもを預かるとなると、アレルギーなどの問題もあり大変である。周知方法も含め、改善できることがあるのではないかと考えている。</p> <p>問：場所はどこにあるのか。</p> <p>高橋：共栄保育園 1 カ所で開催している。実施する園を増やせないか、利用に係る手続きが簡単にならないかについても検討していきたい。</p> <p>問：釧路市男女共同参画センターも再来年から指定管理者制度になる予定だが、選定にあたり、金額の安さだけでなく、いい仕事を市民へ提供してくれる事業者を選んでもらいたい。</p> <p>金安：これから検討することになるが、いただいた意見を活かして議論を進めていきたい。</p> <p>問：まちづくり基本条例の制定から 1 年経ったが、議会としての認識は市のステータスシンボルという位置付けか。それとも</p>

<p>市民が主役でまちづくりを進めたいという認識か。</p> <p>佐藤：ステータスシンボルというよりも、今後の市のまちづくりの根幹をしっかりと明示したものと認識している。まちづくりの主役は市民であり、市、市議会議員、市民それぞれの役割でまちづくりを進めていきたい。</p>
<p>問：阿寒湖畔と北大通は重点的にまちづくりをする地区と聞き、女性団体協議会で北大通の草取りをしているが、阿寒地区は草取りがきちんと入っているようだ。北大通も力を入れていくと聞いていたがどうなったのか。</p> <p>伊東：花壇の草取りが大変であること、北大通りをきれいにしてお客を出迎えたいということをしかり受け止め、取り組んでいきたい。</p>
<p>問：音別地区の富貴紙について、もっとPRしていくべきでないか。</p> <p>伊東：議会でも取り上げられているが、大量生産できないという現状の課題がある。音別地区の地域振興にもつながるため、引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>問：道内でも民生委員の不足が問題となっているが、釧路市の民生委員の活動は道内でもトップレベルにある。民生委員とのつながりはどうなっているか。</p> <p>高橋：なかなか民生委員のなり手がいないと聞いている。誰でもなれる訳でなく、住民のプライバシーの問題等もあり大変だが、これからどう対応していくか課題と考えている。</p>
<p>問：釧路に来た観光客の方から「釧路空港へ続く上り坂が汚く残念だった、気持ちよく釧路から帰りたい」と言われ残念に感じている。</p> <p>伊東：道道であり市の管轄ではないが、貴重な意見として承りたい。</p> <p>高橋：春には大楽毛よしの幼稚園で花壇づくりなどしていると聞いている。</p>

	<p>問：火力発電所が 2019 年稼働開始と聞いているが、公害が発生して被害にあった時の補償を約束するために市と業者で誓約書に調印してほしい。</p> <p>伊東：貴重な意見として承る。</p> <p>問：町内会で避難訓練や勉強会を実施していることで地域住民の意識が高くなっているが、震災が起こったときに自力で避難できない方をどう避難させるか、一緒に避難するか、地域でどう支えていくか、また、ろうあ者への配慮も必要と考えるが、地域の高齢化も進み、町内会だけの取り組みには限界がある。また、学校などの体育館が避難所となることが多いと思うが、肢体不自由の方が使えるトイレが体育館近くに無いのではないか。震災が起こった時に町内会で避難所運営する力をつけるため、障がいのある方を含めた避難訓練の実施や、避難所で肢体不自由の方が利用できるトイレの問題などについて質疑してほしい。</p> <p>高橋：福祉避難所について、委員会等で議論していきたい。</p> <p>要望：市外に進学した女性からのお話で、釧路の企業には女性を活用する気がないからと釧路に戻らず市外で就職している例が多いと聞く。そのような視点からも女性登用について企業や経済界へ呼びかけを進めてほしい。</p> <p>金安：女性活躍推進法が施行されたことに伴う民間企業や市役所の女性雇用について、本会議等で質問してきたが、男女が住みやすいまちづくりに向けて女性の雇用が拡大するよう今後も取り組んでいきたい。</p>
<p>議 会 へ の 要 望 ・ 意 見</p>	<p>問：他都市で政務活動費が個人の生活に使われていると大々的に報道があったが、釧路市議会議員は生活費に使っていないか。</p> <p>佐藤：釧路市では月額 4 万円×人数×12 ヶ月分の政務活動費が会派へ支給される。金額や支出基準について条例で定められており、ご指摘のような使い方はできないようになっている。4 年にわたり実施した議会改革検討委員会において、市民の方々から疑念を持たれないよう透明化を図り、資料や領収書等全て公</p>

	<p>開しようとなった。市議会ホームページだけでなく、市役所1階の市政情報コーナーでも公開しており、情報公開請求せずにご覧いただける。</p> <p>問：白紙の領収書をもって自分で金額を記入しているという報道や、領収書に数字を書き加えていたという報道があったが、釧路市議会議員も数字を記入しているのではないか。</p> <p>佐藤：公開している領収書をぜひ見てほしい。会派の中でもチェックし、さらに議会事務局でも上期、下期の半期毎にチェックしており、白紙の領収書をもろうことや数字を加筆したりすることは絶対にならない。</p> <p>問：間違いないと証明できるのか。</p> <p>佐藤：いまここで証明することはできないが、チェックに際しては領収書と併せ業者からの請求書も添付しており、公開しているものをぜひ見てほしい。</p> <p>高橋：例えば研修に行く場合、報告書には航空券の半券、写真、名刺等も添付しており、二重、三重のチェック体制が整っている。理解してほしい。</p>
	<p>要望：昔は議員によってそれぞれの専門性があったが今は見えない。この分野はこの議員という専門性がほしい。</p> <p>佐藤：先輩議員の中には、福祉や経済などその分野への見識が深い方もいた。議員の得意分野は、それぞれ研鑽を積んだ結果である。市議みんなへ伝えていきたい。</p> <p>高橋：議員としても「特定の分野にだけ明るい」という訳にもいかず、オールマイティに対応していかなければならない。その点についてご理解いただきたい。</p>
<p>市への 要望・意見</p>	<p>要望：ハザードマップという言葉について、日本語表記もしてほしい。また、大きな災害が起きた場合、地域の人で避難所の運営をしなければならないが、ほとんどの市民は市職員に来てもらえると認識していると思う。その点についても住民に周知してほしい。</p> <p>金安：ハザードマップの日本語表記について、関係部署に申し伝</p>

	<p>える。</p> <p>高橋：避難所が開設されれば市からも職員が行くことになるが、災害はいつどんな状況で起こるかわからないため、基本的には地域、町内会が中心に進めていくことになる。その点について行政側へ報告させていただきたい。</p>
	<p>要望：男女共同参画について、学校教育で取り入れてほしい。</p> <p>金安：以前この件について、積極的という訳ではないが取り組んでいる、という答弁をもらった経緯がある。全くやっていないという訳ではないのだろうが、この意見を踏まえてこれからも働きかけたい。</p>